



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社 キョウデン

上場取引所 東

コード番号 6881 URL <https://www.kyoden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 清隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画室長 (氏名) 渡邊 真樹

TEL 03-5789-2273

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	33,532	15.6	1,478	20.2	1,589	18.8	1,128	47.7
2020年3月期第3四半期	39,734	7.2	1,853	37.0	1,958	33.7	763	65.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 701百万円 (26.0%) 2020年3月期第3四半期 948百万円 (57.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	22.71	
2020年3月期第3四半期	15.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	45,850	19,221	41.7
2020年3月期	45,502	18,775	41.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 19,134百万円 2020年3月期 18,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		5.00	5.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	11.6	2,200	0.5	2,200	2.7	2,300	41.8	46.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	52,279,051 株	2020年3月期	52,279,051 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,592,855 株	2020年3月期	2,592,855 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	49,686,196 株	2020年3月期3Q	49,686,196 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス(COVID-19)拡大により経済活動が大きく制限され、その後、経済活動の再開や輸出の復調にともない緩やかな回復の動きが見られましたが、雇用環境の悪化、消費回復の鈍化と依然として感染再拡大への懸念と力強さを欠いています。世界経済においても、新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期が見通せず、経済活動の停滞により依然として不透明な状況が続いております。なお、当社グループへの影響も少なからずありましたが、2020年度後半にかけて不透明ではありますが、事態の鎮静化に伴い回復してくるものと考えております。このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比15.6%減の33,532百万円、営業利益は前年同期比20.2%減の1,478百万円、経常利益は前年同期比18.8%減の1,589百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比47.7%増の1,128百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(電子事業)

国内基板事業に関しましては、アミューズメント機器・車載機器を中心に第3四半期から販売が回復しましたが、第2四半期において新型コロナウイルス感染症の影響により、販売が低迷したことや、EMS事業に関しても販売が低迷したことにより、国内電子事業全体においては減収となりました。また海外基板事業に関しても新型コロナウイルス感染症の影響による車載機器の落ち込みにより減収となりましたが、足元においては回復基調で推移しております。このような環境のもと、電子事業全体の売上高は前年同期比16.9%減の25,622百万円と減収となりました。セグメント利益は、前年度に行いました横浜工場集約に伴う事業構造改革の効果も見受けられましたが、大幅な受注減に伴い、前年同期比30.6%減の854百万円と減益となりました。

(工業材料事業)

工業材料事業におきましては、前年度から続く米中貿易摩擦や中国経済の減速に新型コロナウイルス感染拡大が加わり、特に自動車および鉄鋼関連産業の低迷の影響が大きく、都市インフラ関連や原料仕入れ販売等一部の製品・商品に堅調なものもありましたが、全般に販売は伸びませんでした。一方で、経費の圧縮や減価償却費の減少が収益下支えに寄与しました。その結果、売上高は前年同期比11.3%減の7,909百万円、セグメント利益は前年同期比0.4%増の623百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は45,850百万円となり、前連結会計年度末に比べ348百万円増加しました。主な増減は、現金及び預金の増加1,761百万円、受取手形及び売掛金の減少2,400百万円及び有形固定資産の増加712百万円であります。

負債の残高は26,629百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円減少しました。主な増減は、支払手形及び買掛金の減少1,597百万円、借入金の増加2,333百万円及び未払法人税等の減少644百万円であります。

純資産の残高は19,221百万円となり、前連結会計年度末に比べ445百万円増加しました。主な増減は、利益剰余金の増加873百万円及び為替換算調整勘定の減少430百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年11月12日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,173	6,935
受取手形及び売掛金	14,187	11,786
電子記録債権	2,431	2,401
商品及び製品	2,206	2,169
仕掛品	2,102	2,117
原材料及び貯蔵品	3,314	3,268
その他	377	881
貸倒引当金	△143	△133
流動資産合計	29,649	29,427
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,286	4,247
その他（純額）	9,232	9,984
有形固定資産合計	13,518	14,231
無形固定資産	269	262
投資その他の資産		
その他	2,220	2,084
貸倒引当金	△156	△154
投資その他の資産合計	2,064	1,929
固定資産合計	15,852	16,423
資産合計	45,502	45,850

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,860	5,262
電子記録債務	1,025	1,101
短期借入金	2,409	3,100
1年内償還予定の社債	326	249
1年内返済予定の長期借入金	2,272	2,654
未払法人税等	687	43
賞与引当金	406	279
その他	3,248	3,441
流動負債合計	17,236	16,132
固定負債		
社債	480	360
長期借入金	4,815	6,075
役員退職慰労引当金	8	8
退職給付に係る負債	2,639	2,742
その他	1,547	1,310
固定負債合計	9,489	10,496
負債合計	26,726	26,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,358	4,358
資本剰余金	4,174	4,174
利益剰余金	11,075	11,947
自己株式	△491	△491
株主資本合計	19,116	19,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147	143
為替換算調整勘定	△557	△988
退職給付に係る調整累計額	△6	△9
その他の包括利益累計額合計	△415	△853
非支配株主持分	74	86
純資産合計	18,775	19,221
負債純資産合計	45,502	45,850

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)
売上高	39,734	33,532
売上原価	33,479	27,969
売上総利益	6,255	5,562
販売費及び一般管理費	4,402	4,084
営業利益	1,853	1,478
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	3	3
受取賃貸料	34	13
投資事業組合運用益	97	—
為替差益	55	87
その他	37	105
営業外収益合計	231	211
営業外費用		
支払利息	74	58
その他	52	41
営業外費用合計	126	100
経常利益	1,958	1,589
特別損失		
事業構造改善費用	780	—
特別損失合計	780	—
税金等調整前四半期純利益	1,178	1,589
法人税、住民税及び事業税	388	297
法人税等調整額	14	151
法人税等合計	403	449
四半期純利益	775	1,140
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	763	1,128

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日）
四半期純利益	775	1,140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106	△4
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	64	△430
退職給付に係る調整額	1	△3
その他の包括利益合計	172	△438
四半期包括利益	948	701
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	936	689
非支配株主に係る四半期包括利益	11	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	30,815	8,919	39,734	—	39,734
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	30,815	8,919	39,734	—	39,734
セグメント利益（注）	1,232	620	1,853	—	1,853

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電子事業」セグメントにおいて、当社の横浜事業所生産停止に伴い固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該セグメントにおける減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において326百万円であり、特別損失の「事業構造改善費用」に含まれております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	25,622	7,909	33,532	—	33,532
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	25,622	7,909	33,532	—	33,532
セグメント利益（注）	854	623	1,478	—	1,478

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。